



環境リスク軽減対策の一環として「気中粉塵アスベスト調査」を始めました！！！！

アスベストの発がん性が疫学的に明らかになると共に、わが国においても段階的にアスベストの使用が禁止され、労働安全衛生法施行令の改正によって、すでにアスベスト使用が原則禁止されています。しかし、1980年迄に建てられた建築物には大量のアスベストが使用されている可能性があり、これらの建築物の老朽化とともに建替えによる解体が増えると思込まれます。これに伴い、今後アスベスト含有建材の解体・改修に対する規制が強化され、環境測定の実務が拡大することが想定されます。

1. 大気環境アスベスト調査の概要

弊社では現地サンプリングから分析・報告まで一貫した対応が可能です。

サンプリング

一般大気環境（敷地境界）や作業環境、建物内でサンプリング

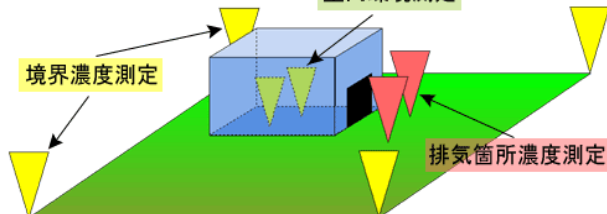
フィルター透明化処理

フィルタークリアリングキットを用い、スライドグラス上のフィルターをアセトン蒸気で透明化

位相差顕微鏡により計数

倍率400倍の位相差顕微鏡で計数分析
長さが5 μ m以上で、幅3 μ m未満、アスベスト比3以上の繊維について50視野または、200繊維以上を計数

石綿繊維数濃度を算出・報告



測定項目	作業環境測定	廃棄箇所濃度測定	敷地境界線
測定位置	作業所内 高さ50~150cm	建築物内 高さ50~150cm	敷地境界線の東西南北
吸引流量と時間	面速4.0~5.0cm/秒 毎分1Lで15分以上	毎分5Lで120分	毎分10Lで4時間
管理濃度	1立法セキあたり0.15本	1Lあたり10本	1Lあたり10本

2. 分析単価

対象試料		分析方法		標準納期	準拠する法令等	標準料金
気中粉塵	①大気環境	定量分析 (n=1)	位相差顕微鏡を用いた分析方法	2週間 ~ 1ヶ月	大気汚染防止法	¥30,000-
	②作業環境					

※通常5ポイント以上の測定が必要です。
現場の状況等により測定数は変化しますのでご相談ください。
別途見積り差し上げます。
※弊社はアスベスト分野において、帝人エコサイエンス株式会社と業務連携しております。

